

## 第 28 回九州音楽コンクール ピアノ部門 審査員プロフィール

### ピアノ部門

#### 厚地 とみ子

熊本音楽短期大学（現平成音楽大学）ピアノ科卒業。厚地音楽教室及びトウジュール・アンサンブル主宰熊本よか音ステーション代表。ピティナ・ピアノコンペティションに於いて、1995 年より連続指導者賞受賞。2017 年に 4 月に熊本震災復興祈念コンサートに出演。2018 年 4 月にピティナ・ピアノ指導セミナー・指導法紹介ポスターセッションプレゼンターを務める。地元での福祉施設への慰問演奏を積極的に実施。ピティナ・ピアノコンペティション、日本バッハコンクール、ブルグミュラーコンクール、ショパン国際ピアノコンクール in Asia、日本クラシックコンクール、九州音楽コンクール、ルーマニア国際コンクール、ピアラピアノコンクール、さいたコンクールの審査員を務める。これまでに、ピアノを清川公子、出田敬三、松崎伶子、室内楽を多喜靖美、各氏に師事。一般社団法人全日本ピアノ指導者協会正会員。

#### 有満 玲子

国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。芸術学士取得。

カナダ・東京・鹿児島でリサイタル開催。1989 年、鹿児島交響楽団と共演。

その後、九州公私立大学音楽学会において、1991 ・ 1998 ・ 2000 ・ 2003 ・ 2004 ・

2006 ・ 2007 ・ 2017 ・ 2023 年に演奏発表を行い、1999 ・ 2001 ・ 2005 ・ 2011 ・ 2018 ・ 2019 年に研究発表を行う。1992 年、全日本ピアノ指導者協会より指導者賞を受賞。

2006 ・ 2010 年鹿児島にて、2014 年カナダバンクーバーにて「ピアノと歌」のリサイタルを行う。

2007 年、宮城県にて西南戦争終結 130 年追悼演奏を行う。

「田原坂幻想曲」初演。同年、西郷南洲翁生誕 180 年記念講演会 & 記念展で演奏する。

2008 年、鹿児島県と宮城県文化交流の為、宮城県知事表敬訪問（TBC 東北放送放映河北新報記事掲載）。2008 年「田原坂幻想曲」CD 制作。2010 年「希望」初演、CD 制作。

2023 年「ルソンの壺」初演。

2011 年～2015 年、カナダブリティッシュコロンビア大学の研究に基づき Music Therapy を行い講師を務める。

2009 ・ 2015 ・ 2016 年、全九州大学音楽学会において演奏発表を行う。

2019 年、鹿児島クラシックミュージックフェスティバルを発足。

その他、TV ・ ラジオ ・ 多数の演奏会に出演し、コンクールの審査などを行い、後進の指導にあたっている。

## 大石 陽子

熊本市出身、3歳でピアノを始める。

武蔵野音楽大学ピアノ専攻卒業、同大学院修士課程修了。

杉山千賀子、室井摩耶子、R.カヴァイエ、A.ウェーバー・ジンケの諸氏に師事。

室井摩耶子氏にはヨーロッパ音楽の本質を細かくご教授いただき、呼吸・拍子・音色にこだわった指導をしています。

熊日学生音楽コンクール、宮崎ピアノコンクール、全九州高校音楽コンクール他審査員を務める。

長年の音楽大学の教育経験から、数々のオーディション合格者や演奏経験者を輩出。これまでの指導生徒数は約200名。

日本ピアノ教育連盟会員、玉名演奏者協会会長、熊本県文化懇話会会員

## 大津山 姿子

国立音楽大学卒業。

大学在学中よりリトミックを専攻し、卒業後は、ピアノ指導者として、また大学を含む教育機関等での講義を通して後進の指導に当たりながら、音楽表現の研究を続けている。

ピティナピアノコンペティション・バッハコンクール全国大会審査員をはじめ、各種コンクール審査員・アドバイザーを務める。

現在、熊本学園大学特任講師、ルーテル学院高等学校芸術科非常勤講師、萌乃会代表、ラーニングトゥプレイ碧代表。

## 勝木 裕子

ピアニスト。フィンガートレーニング講師。かつきピアノ教室代表。

ピアノ教師として働きだし、早い物で四半世紀以上の年月が流れました。

小さなお子様、コンクールや音大を目指す方、新たな趣味として習いたい初心者の方、長年の経験のある方、個々のレベルに合わせたレッスンを行います。マンツーマンですので目的に合わせた丁寧な指導が可能です。私が特に力を入れていること…ピアノの上達だけではなく、レッスンを受けられた全ての生徒さんの心に、笑顔の花が咲くようなレッスン、心に寄り添うレッスンをこころがけております。(音楽教室HPより)

## 川口 みさき

国立音楽大学器楽専攻ピアノ科卒業、同大学院修了【修士(音楽)】。ジュリアード音楽

院留学。第35回熊本県文化懇話会新人賞受賞。(2000年)。ルーマニア文化交流功労賞受賞。(2002年)。国内外のオーケストラとの共演が多く、特にピアノ協奏曲の演奏研究に力をいれている。ルーマニアにおいて「日本芸術週間」、「日本ルーマニア国交開始100周年記念コンサート」また「日本・ドナウ交流年2009記念コンサート」にてピアノ協奏曲を演奏、好評を博す。国内においても九州交響楽団をはじめ多くの楽団と共演。2010年「シヨパン・シューマン生誕200年記念リサイタル」を熊本、福岡にて行う。エフエム熊本(FMK)のクラシック音楽番組「川口みさきの音楽玉手箱」は3年間毎週放送された。また、コンクール課題曲公開レッスン、室内楽の講座、音楽コンクールの審査など幅広く活躍中。平成21年にルーマニア国立トゥルグ・ムレシュ芸術学校名誉教授に就任。日本とルーマニアの音楽学生の交流にも貢献している。

現在、平成音楽大学客員教授、全日本ピアノ指導者協会(PTNA)評議員、熊本支部支部長。熊本県新人演奏会実行委員。九州公立音楽学会会員。熊本県文化懇話会会員。

## 塩永 すみこ

国立音楽大学卒業。これまでに九州女学院短期大学(現・九州ルーテル学院大学)、熊本音楽短期大学(現・平成音楽大学)、熊本市立総合ビジネス専門学校において講師を務める。

現在、多方面に渡り演奏活動を行っているほか、後進の指導にも力を注いでいる。

## 住江 智子

熊本県八代市出身。福岡女学院高等学校音楽科卒業。桐朋学園短期大学ピアノ科首席卒業、卒業演奏会出演。ウィーン国立音楽大学室内楽ピアニスト科卒業6年間研鑽を積む。ヨーゼフ・ディヒラー、ハンス・カン教授にソロと室内楽を師事。在学中、ベートーヴェンハウスホールにてスプリングコンサートに出演。同年9月、帰国リサイタルを八代、熊本にて開催。12月、九州交響楽団と八代にて共演。1981年、熊本市民会館大ホールにて一柳慧・吉原すみれ氏等と共演。1982年、熊本・人吉にてピアノリサイタルを開催。1991年、合唱団コーロ・フィオーレの定期演奏会。1993年5月、古里聖子氏ソプラノリサイタルの伴奏ピアニストとして出演。カワイ楽器・有明楽器の講師指導。熊本音楽短期大学研究生の室内楽を7年間指導及びオーケストラパートのピアニストとして出演。1999年、室内楽コンサート(メンデルスゾーンピアノ三重奏曲 etc.)を開く。2008年、平成音楽大学教員コンサートでフルート、山口邦子先生と共演。2008年8月、熊本県立劇場”ピアノの日”の第一部のアドバイザーを担当。2009年6月、平成音楽大学教員コンサート4回シリーズの大トリを務めた。現在、平成音楽大学講師。九州音楽コンクール、グレンツェンピアノコンクール、その他の審査員を務める。

## 竹下 千晴

国立音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。西日本新人演奏会および熊本県新人演奏会に出演。九州交響楽団とベートーヴェンのピアノ協奏曲第3番を共演（指揮：黒岩英臣氏）。コンラート・ハンゼン氏の音楽セミナーに参加。修了演奏会出演。

長崎県伊王島にて、元九州交響楽団コンサートマスター、中島三幾氏と共演。沖縄県にて、声楽家の小波津隆氏、美奈子氏と共演。鹿児島県にて、元九州交響楽団コンサートマスター、中島三幾氏と共演。熊本市にてピアノリサイタルを行う。熊本市及び球磨郡にて、元新日本フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスター・室谷高廣氏とジョイントリサイタルを行う。九州沖縄を中心に幅広く演奏活動を行い、後進の指導に当たっている。これまでに、末永博子・属澄江・小島満里・御木本澄子・井上直幸の各氏に師事。現在、平成音楽大学講師、九州ルーテル学院大学講師。熊本県文化懇話会会員、ピアノ教育連盟会員。熊日学生音楽コンクール、八代青少年音楽コンクール等の審査委員を務める。

## 田中 幸子

国立音楽大学ピアノ科卒業。

東京、福岡、宮崎を中心に九州交響楽団7回、宮崎交響楽団4回、各地でリサイタル、ジョイントコンサートなど130回以上行い、好評を博している。宮崎ピアニストグループ代表、福岡青年音楽家協会、九州公私立大学音楽学会、日本ピアノ教育連盟会員。宮崎女子短期大学（音楽科）、宮崎国際大学（教育学部）各教授を経て、現在平成音楽大学客員教授。

## 谷脇 裕子

桐朋学園大学音楽学部卒業。

ゲルトラウト・クヴァチェック、原田吉雄、玉置善己の各氏に師事。

中学生の時に1年間ウィーンに滞在、市立音楽院でのクヴァチェック・クラス発表会に出演。これまでにソロリサイタル、ピアノデュオリサイタル、ジョイントリサイタルなどを開催。室内楽、器楽や声楽の伴奏でも活動している。

## 中島 和代

名古屋市立菊里高等学校音楽科卒業。武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。

卒業後は名古屋を拠点に演奏活動を始め。1979年より熊本に移り、九州現代音楽祭、

「四人のピアノ演奏会」等でソロ、デュオ、室内楽、伴奏等の演奏を重ねる。また、日本フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスターであった故大川内弘氏等と共に、熊本と東京において5回にわたり室内楽のコンサートを行う。2014年からは「Kazunoko コンサート」を開催して東日本大震災の津波遺児等へのチャリティ活動を続けている。これまでに清田健一、丸山徹薫、マルティン・シュタインの各氏に師事。

熊日学生音楽コンクール、さいたピアノコンクール、音の夢ピアノコンクール、九州国際バッハコンクール等審査員や公開レッスン・セミナー等幅広く活動を行い、後進の育成にも努めている。現在、平成音楽大学講師、日本ピアノ教育連盟会員、熊本県文化懇話会会員。

## 奈良井巳城

国立音楽大学器楽科ピアノ専攻首席。L.ナウモフ教授の下で研鑽を積み、モスクワ音楽院修了。2015年よりPTNA ステップ説明会やロシアピアノリズムを基調とした奏法のセミナーなどで全国各地で講師を務める。また、主要都市にてプライベートレッスン、公開レッスンなども開講。PTNA ピアノコンペティション（全国決勝大会含む）、ショパン国際ピアノコンクール in ASIA、日本バッハコンクール、ブルグミュラーコンクールなど国内の主要なコンクールの審査も務める。全日本ピアノ指導者協会(PTNA)正会員。月刊ムジカノーヴァ(音楽之友社)に「ハノン教本」の取り組み方について「ハノンクリニック」を全28回連載、チェルニー30番を一曲ずつ取り組み方などを解説した「チェルニークリニック」を全32回連載。現在同誌にてブルクミュラー25の練習曲を1曲ずつ取り上げ解説する「ブルクミュラークリニック」連載中。昭和音楽大学、同大学院講師、洗足学園音楽大学講師。

## 袴田 和泉

東京藝術大学を経て、同大学大学院修了。ハンガリー政府給費留学生として、ハンガリー国立フランツ・リスト 音楽アカデミーで研鑽を重ねた後、ドイツ国立フライブルグ音楽大学大学院ソリストコースへ進み、最優秀の成績でドイツ芸術ソリスト国家資格試験に合格し、同校を修了する。レオ・ヴァイナーコンクール第2位、ウィーン国際夏期ゼミナールコンクール第2位（第1位なし）。ピアノを田村宏、堀江孝子、高野燿子、高野高子、フェレンツ・ラドシュ、故ティボール・ハザイの各氏に、室内楽をカーロイ・バトヴァイ、シャーンドル・デヴィッチの各氏に師事。また、故アマデウス・ヴェーバー・ジンケ、ヴィタリ・マルグリス、アンジェイ・エステルハージの各氏のマスターコースを受ける。これまでに、東京サントリーホール小ホール、津田ホール、フライブルグカウフハウスザール、ベルリンフィルハーモニー室内楽ホール、ジュネーヴ国際労働機関、在ジュネーブ

国際機関日本政府代表部など、日本、ハンガリー、ドイツ、スイス、フランス各地においてリサイタルの他、室内楽、オーケストラとの共演、2台ピアノデュオ及び、南西ドイツ放送、スイスロマンド放送への出演（リサイタルの実況生中継）、NHK（TV ライブ演奏およびFM への出演）など幅広い活動を行ない、その演奏は内外の批評家から実力派ピアニストとして高い評価を受けている。

2005年に〜スクリャービンの人生と音楽を追って〜と題する全10曲のピアノ・ソナタをメインにしたリサイタル・シリーズ（全6回）を成功のうちに終え、その卓越した解釈は各方面から大きな反響をよんだ。

## 光永 育

熊本県立済々黌高校卒業、国立音楽大学ピアノ科を経て、同大学院修了。

在学中、奨学金を得て、モーツァルテウム音楽院夏期アカデミー受講。第4回日本クラシック音楽コンクール全国大会にて秀演賞受賞。1996年ソロデビューリサイタル開催。

2000年より光永浩一郎氏とピアノ連弾を組み、「NHK 美術館コンサート」等に出演。2007年「ハダメス・ニヤタリ生誕100周年記念ピアノ作品集ブラジリアーナ第8番」を発売、「レコード芸術」の特選盤になる。

赤十字チャリティーコンサート、東日本大震災・熊本地震復興支援コンサート等、演奏によるボランティア活動も行っている。

現在、平成音楽大学ピアノ講師を勤め、「音楽を通じて沢山の方々と感動を分かち合いたい」という思いでスクールコンサートやアウトリーチでも活動中。

ピア・デ・ムジーク代表

## 宮谷 理香

金沢市生まれ。桐朋学園大学卒業、同研究科修了。1995年第13回ショパン国際ピアノコンクール第5位入賞。翌96年に全国11都市へのツアーで楽壇デビュー。以来、四半世紀を越えて常に第一線で活発な演奏活動を展開、日本全国での公演はソロ活動を中心に1000回を超す。海外では、国際交流基金からの派遣でポーランド・スペイン6都市にてリサイタル、またパリ、ウィーン、ワルシャワ、ドゥシニキ、チェコ、蘇州等にもリサイタル招聘された。スロヴァキアフィル、ワルシャワフィル、国内主要オーケストラ等との共演多数。室内楽ではライブツィヒカルテット、ドビュッシーカルテット、チェコフィルカルテット等の名だたる弦楽四重奏団やN響メンバーとの共演のほか、「デュオ・グレイス」や、「アンサンブルφ」等のユニットとしても活動。日生劇場制作の音楽劇や舞台作品にも度々出演し全国ツアーにも参加。演奏指導や執筆など多彩な才能を発揮し幅広いフィールドで活躍している。

生まれ故郷石川県での 100 校を超す小中学校・特別支援学校の無償訪問(延べ 4 万人)や「能登の音楽文化復興を支援する会」の活動等、音楽家として社会との共創を目指す姿勢は一貫している。豊富な録音(全 22 枚の CD)の評価も極めて高く、15 年以上にわたりレコード芸術特選盤連続選出の快挙を達成している。著書に「理香りんのおじゃまします」。日本ショパン協会賞、飛騨古川音楽大賞新人賞、石川県文化奨励賞ほか受賞多数。曲種を鮮やかに生かす第一級のピアニズムと作品への非凡な親和力、気品と洗練の歌心で高い芸術性をもたらすコンサートピアニスト。桐朋学園芸術短期大学講師。平成音楽大学教授。

## 宗像 真由美

東京音楽大学卒業。フライブルグ国立音楽大学に 1 年間留学。独奏をはじめ室内楽、伴奏等多方面に渡り演奏活動を行う。

元尚絅短期大学、熊本音楽短期大学(現・平成音楽大学)講師。

## 吉川 由三子

武蔵野音楽大学卒業。独奏、室内楽など多数の演奏会に出演。元・尚絅短期大学、九州芸術専門学校講師指導者・教育者としての定評も高く、これまでに多数の優秀なピアニストを育てている。

\* ホームページ等より引用